

村山学園の校務改善

学校力の向上
一貫教育の推進

を目指した
学校システム全体の見直し

校内組織
共同事務
人材育成

武蔵村山市立小中一貫校村山学園
統括校長 齋藤 実（まこと 中学校籍）

武蔵村山市はここです

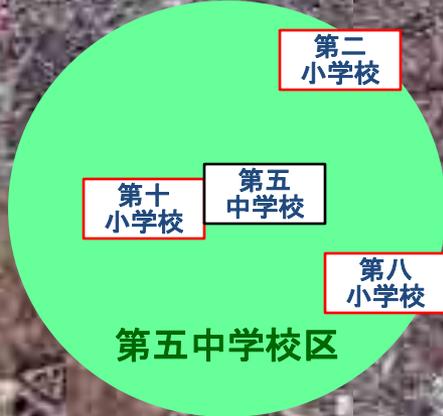


武蔵村山市の衛星写真

狭山丘陵

横田基地

市役所
教育委員会



日産村山工場跡



都営村山団地

村山学園

大南公園

都立上水高校
拓大一高
国立音楽大学



村山学園 祝 6周年



2016



全校児童・生徒 697名



小中一貫教育全国サミット会場 28.10.21



「おもてなし」実習 道案内 9年生



「おもてなし」実習 校門でお出迎え 9年生



「おもてなし」実習 受付 9年生



「おもてなし」実習 誘導 9年生



「おもてなし」実習 学校の説明 9年生

小中一貫校村山学園基本情報

◆ 村山学園6つの「学級」

小中一貫校村山学園は小学部校と中学校だけでなく、次のように6つの「学級」で構成されている。

【通常学級】

| | | |
|---------|------|------|
| 小学部通常学級 | 13学級 | 446人 |
| 中学部通常学級 | 7学級 | 224人 |

【特別支援学級】

| | | |
|-----------------------|-----|-------|
| 小学部情緒障害通級指導学級(すくすく学級) | 4学級 | (49人) |
| 中学部知的障害固定学級(10組) | 4学級 | 27人 |

【日本語学級】

| | | |
|--------------|-----|-------|
| 小学部日本語通級指導学級 | 2学級 | (27人) |
| 中学部日本語通級指導学級 | 1学級 | (15人) |

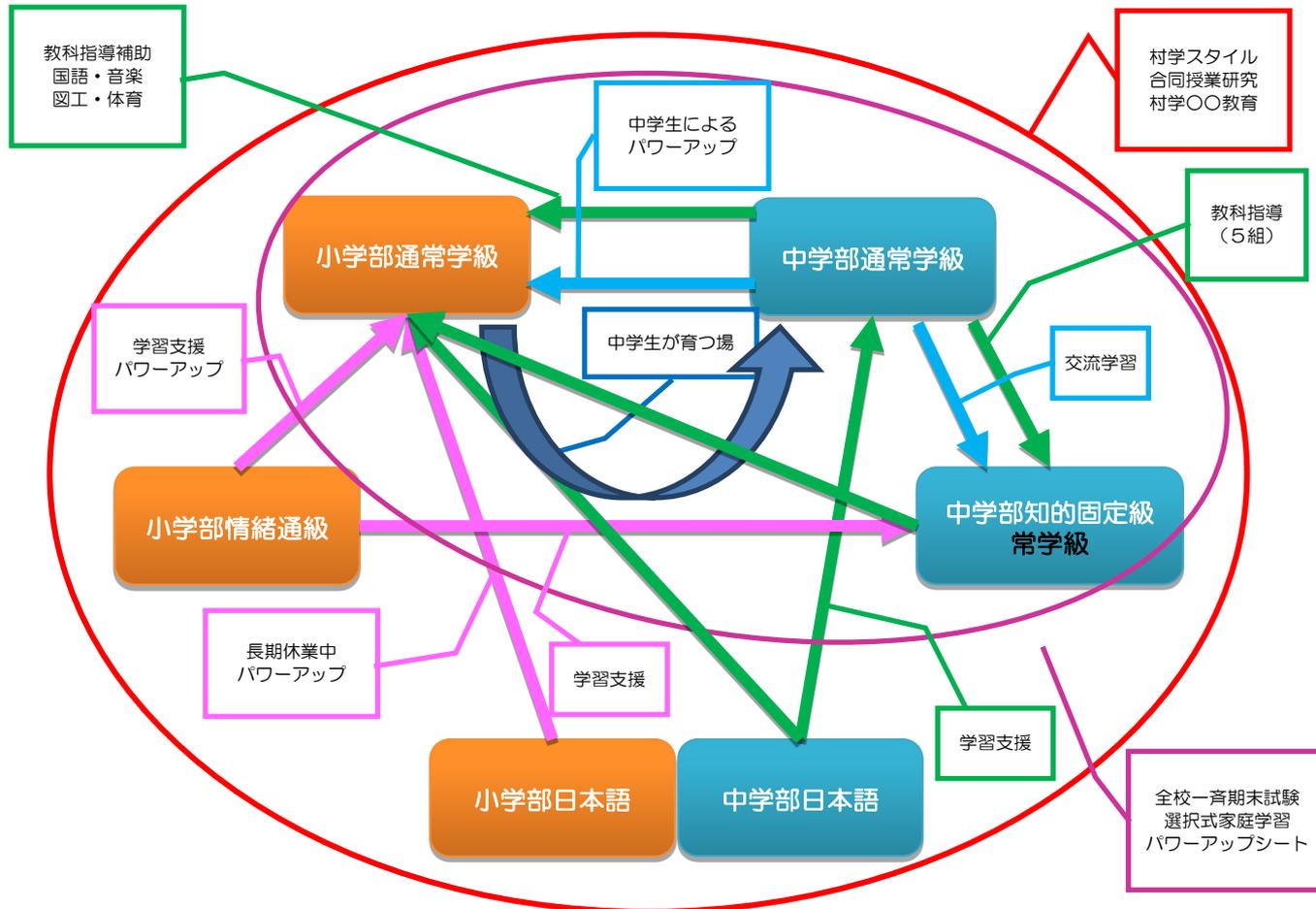
教員定数 52名(管理職4 教員48) 教職員総数 109

※特別支援教室拠点校 村山学園 第七小学校 雷塚小学校 3校

※共同事務拠点校 第三小学校 村山学園小学部・中学部
第七小学校 雷塚小学校
第三中学校 第四小学校 7校



小中一貫校村山学園



基本

地方公務員法

(法令等及び上司の職務上の命令に従う義務)

第三十二条 職員は、その職務を遂行するに当つて、法令、条例、地方公共団体の規則及び地方公共団体の機関の定める規程に従い、且つ、上司の職務上の命令に忠実に従わなければならない。

公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法

(昭和四十六年五月二十八日法律第七十七号)

(教育職員の教職調整額の支給等)

第三条 2 教育職員については、時間外勤務手当及び休日勤務手当は、支給しない。

学校教育法

第三十七条 小学校には、校長、教頭、教諭、養護教諭及び事務職員を置かなければならない。

○4 校長は、校務をつかさどり、所属職員を監督する。

第四十九条 第三十条第二項、第三十一条、第三十四条、第三十五条及び第三十七条から第四十四条までの規定は、中学校に準用する。

分掌組織、諸會議、生活時程

文書起案の流れ
(例) 生活指導部

校長 (中・統括校長)

統括副校長 (小)

副校長 I (小)

副校長 II (中)

主席 (小・主幹教諭)

部長 (小・主幹教諭)

副部長 (中・主任教諭)

課長 (主任教諭・教諭)

起案者

文書指示票

| 種別 | 区分 | | | |
|-------|--------------------------------------|----|----|---|
| | 甲 | 乙 | 丙 | 丁 |
| 配属 | 統括校長 統括副校長 副校長 副校長 | | | |
| 発案 | | | | |
| 供覧 | | | | |
| 回答の要否 | 主席 | 部長 | 課長 | 係 |
| 必要/不要 | | | | |
| 会議/供覧 | 会議・供覧 | | | |
| 完了月日 | 月 日 まで | | | |
| 指示事項 | 別紙のとおり 決定 してよろしいと判断します。 平成27年6月1日 | | | |

平成27年6月10日
武蔵村山市立小中一貫校村山学園
特別活動

尾大会について

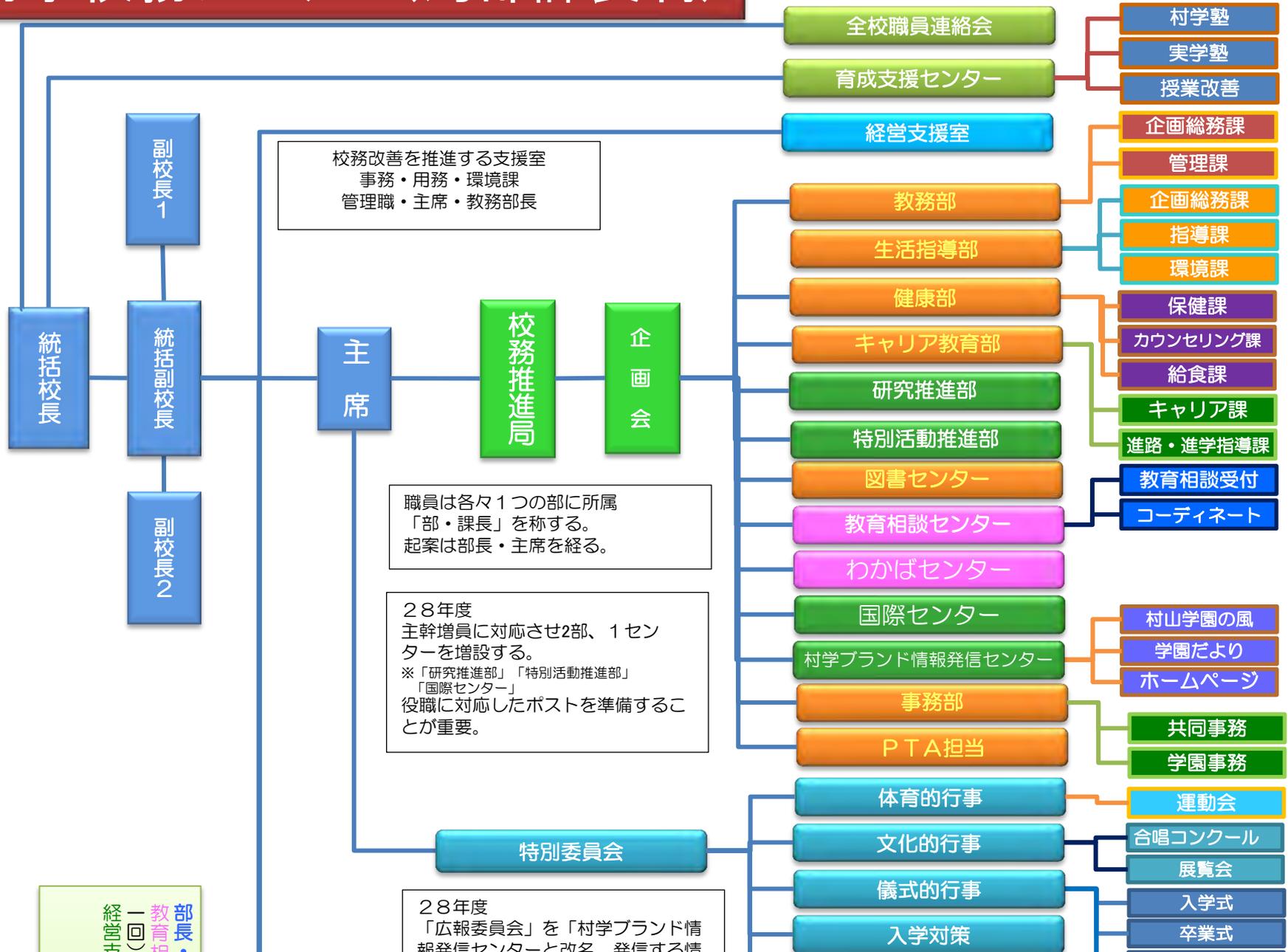
勤する態度を養う。
ろ、
態度を育てる。
与する態度を育てる。
(全て人間関係形成・社会形成能力)

(行事カウント 0.5) ※雨天の場合は中止
+5061 2 / 01/07/13

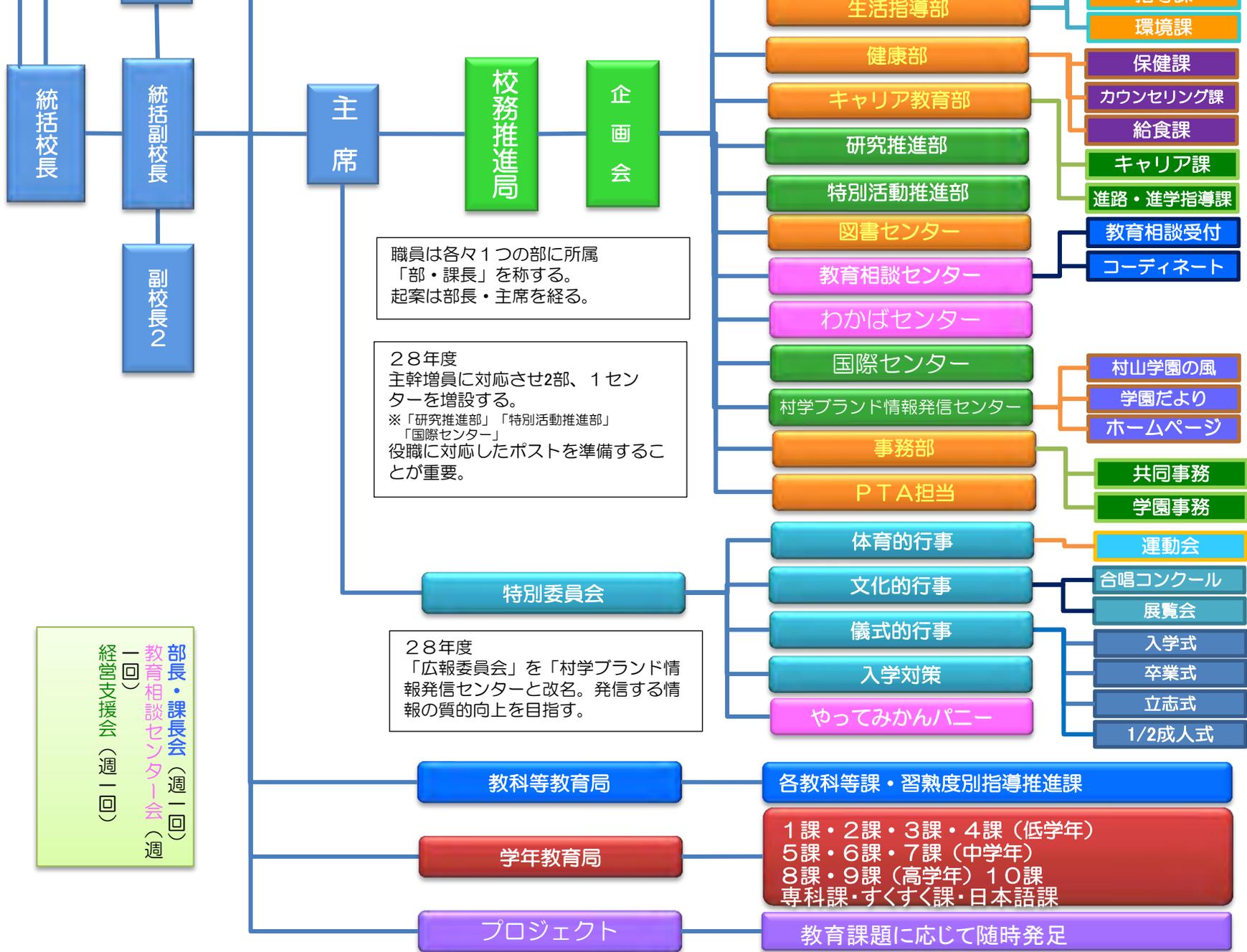
【開会式】

～2015年6月10日(水)～11日(木)～12日(金)～

村学校務システム(局部課長制)



経管部(一) 教育部長



全校連絡会(職員会議)



工夫・改善点

- ・資料はすべて管理職決裁を受けた後に示される。
- ・校長からの指示等を最後に置き、勤務時間内で終了するよう時間調整を行っている。

工夫・改善点

事案に応じて担当者が出席し説明する。

企画会議 (校務推進局)



部課長会（校務推進局部長・学年教育局課長）



内容 校長より指示、連絡
副校長より指示、連絡
各部より連絡、指示、調整
各学年等より、予定、
児童・生徒情報報告⇒対応策

経営支援会議

内容 校長より指示、連絡
施設改善案
予算執行上の課題



職員朝会は...実施していない

| 連絡掲示板 | | | | |
|-------|--|-------|--------|---------------------------|
| ラベル | タイトル | カテゴリ名 | 作成者 | 公開期間 |
| ● | 引き渡し訓練について(再) | 連絡掲示板 | 高橋 翔太 | 2016/08/31~ 2016/09/29 |
| ● | 小学部 教科書 | 連絡掲示板 | 秋葉 千尋 | 2016/08/31~ 2016/09/30 |
| ● | 2学期中間考査 監督表と範囲表について | 連絡掲示板 | 正木 麻里衣 | 2016/08/31~ 2016/09/29 |
| ● | 7, 8年の担任の先生方へ | 連絡掲示板 | 濱中 良介 | 2016/08/31~ 2016/09/30 |
| ● | 第2回英語検定のお知らせ【中学部】 | 連絡掲示板 | 板鼻 彩加 | 2016/08/31~ 2016/09/30 |
| ● | 中学部担任へ 理科のパワーアップシートを設置しました | 連絡掲示板 | 尾崎 菜穂登 | 2016/08/31~ 2016/09/25 |
| ● | 8月31日の会議について | 連絡掲示板 | 山田 宏 | 2016/08/31~ 2016/09/02 |
| ● | 重要 5年~9年の担当の諸先生方へ 夏休みの課題「おすすめブックコンテスト」の応募について | 連絡掲示板 | 志村 修 | 2016/08/30~ 2016/09/29 |



生活時程を工夫し、中学生に活躍の場を 放課後学習時間の確保



| 校時 | 1～4年 | 5・6年 | 7～9年 |
|-------------------|-------------|-------------|--------------------|
| 登校 | 8:00～8:20 | 8:00～8:20 | 8:00～8:20 |
| 朝学習 | 8:15～8:25 | 8:15～8:20 | 8:15～8:20 |
| 朝学活 | 8:25～8:35 | 8:20～8:30 | 8:20～8:30 |
| 1校時 | 8:35～9:20 | 8:30～9:20 | 8:30～9:20 |
| 2校時 | 9:25～10:10 | 9:25～10:15 | 9:30～10:20 |
| 中休み | 10:10～10:35 | 10:15～10:35 | |
| 3校時 | 10:35～11:20 | 10:35～11:25 | 10:30～11:20 |
| 4校時 | 11:25～12:10 | 11:30～12:20 | 11:30～12:20 |
| 給食 | 12:10～12:55 | 12:20～12:55 | 12:20～12:55 |
| 歯磨・昼休 | 12:55～13:15 | 12:55～13:15 | 12:55～13:15 |
| 5校時 | 13:15～14:20 | 13:15～14:05 | 13:15～14:05 |
| 6校時 | 14:05～14:50 | 14:10～15:00 | 14:15～15:05 |
| 終学活 | 14:50～15:00 | 15:00～15:10 | 15:05～15:15 |
| 清掃 | 15:00～15:15 | 15:10～15:25 | 15:15～15:30 |
| パワーアップ | 15:15～15:45 | 15:25～15:45 | 15:30～15:45 |
| 下校 | 15:45 | 15:45 | 15:45 |
| ●全校にパワーアップ・タイムを創設 | | | パワーアップ 支援15:15～ |

●パワーアップタイム・レベルアップ教室



自分の課題
(パワーアップシート)
を選んだら・・・



放課後



中学生が支援

校務負担軽減を目指して

共同事務と学園事務

共同事務室

村山学園小学部

村山学園中学部

第三小学校

第七小学校

雷塚小学校

第三中学校

第四中学校

を4人の都事務で担当



学園事務室



都事務支援員と市嘱託

都事務支援員による支援例

出勤簿整理、点検

休暇・職免等処理簿整理、点検

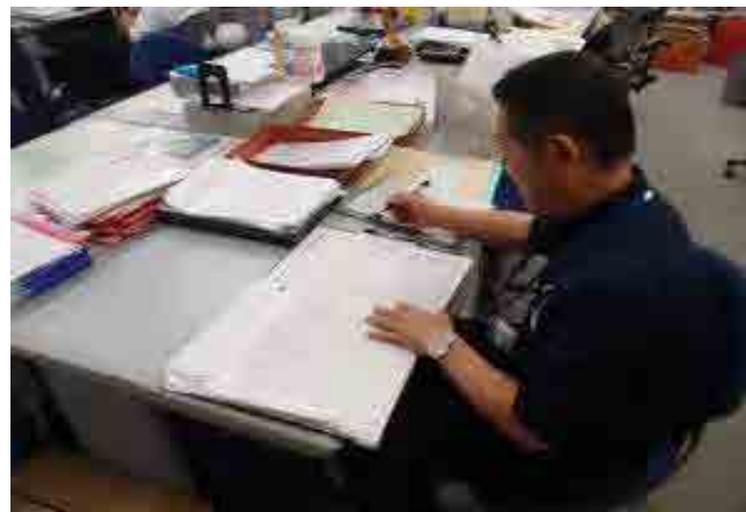
教育施設提出資料作成

給食費未納督促書作成

証明書類発行

学校納付金調査の作成

私費会計管理 他



副校長、教員の 校務軽減が大きい

給食費は市教委学校給食課が対応

戦力増強を目指して

人材の育成

朝の挨拶





年度当初の校内初任者研修





合唱コンクール前日打合せ



事例...学生ではない、大人の挨拶 - 1

廊下で目上の先生とすれ違う時

- 1 黙って静かにすれ違う。
- 2 黙って黙礼をしてすれ違う。(会釈)
- 3 その都度、立ち止まり、挨拶をする。

事例...学生ではない、大人の挨拶－8

朝、校長先生が職員室にいられた時

- 1 立場をわきまえ、自席でしずかにしている。
- 2 自席で座ったまま、黙礼をする。
- 3 自ら立ち上がり、挨拶をする。

★東京都の教育に求められる教師像

| | |
|--------------------------|----------------------------------|
| <u>教育に対する熱意と使命感</u> | <u>豊かな人間性と思いやり</u> |
| <u>子供のよさや可能性を引き出し伸ばす</u> | <u>組織人としての責任感、協調性を有し、互いに高め合う</u> |

★教員に求められる基本的な力

学校の教育力の向上

①

学習指導力

②

生活指導力
進路指導力

今日的な課題への対応

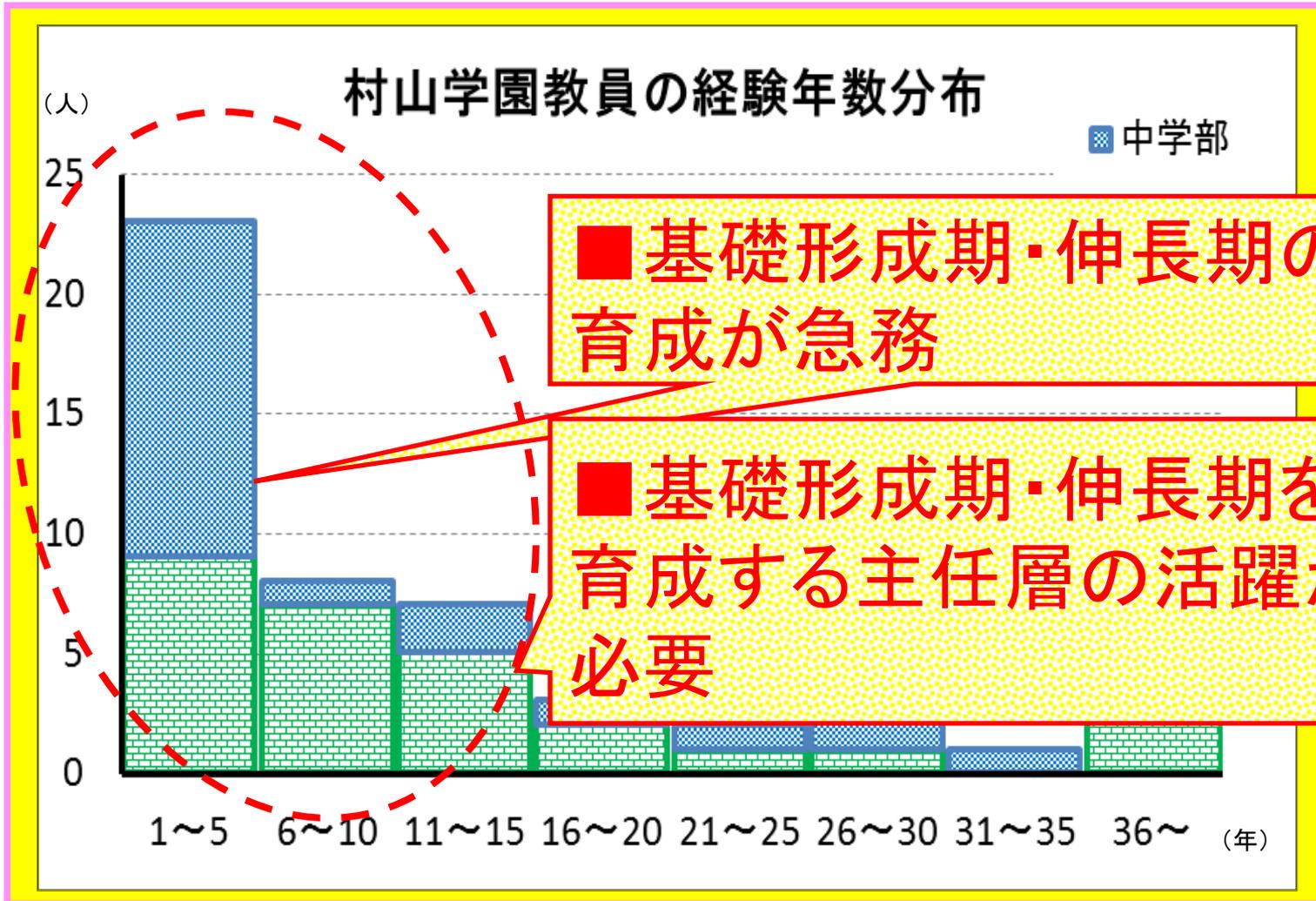
③

外部との
連携・折衝力

④

学校運営力
組織貢献力

村山学園の教員経験年数



●校長より

・目的

校長の経営方針や組織人としての考え方、社会人としての接遇・マナー等を、全ての教職員に具体的に伝え、育成する。

・対象 全教職員

・発行 随時

教える



★公開講座 村学塾

教える

・目的

①主任教諭や分掌主任、学校運営のリーダーになるために必要な資質を身に付ける。

②学級経営や学年経営等、教科指導以外の様々な課題解決のヒントを得たりする。

・対象

若手教員～学校運営のリーダーを目指す教員

・開催 月1回程度





2 人を動かす基本

受け手のことを考え、動きやすいよう配慮する

○校庭などでは…児童・生徒に指示をする場合

号令

お話

配慮事項は？

2 人を動かす基本

受け手のことを考え、動きやすいよう配慮する

主任として

**○所属の先生に実施計画等を立てさせる場合
配慮事項は？**

校長の実践経験からも

図3 進んで理科の学習をする？

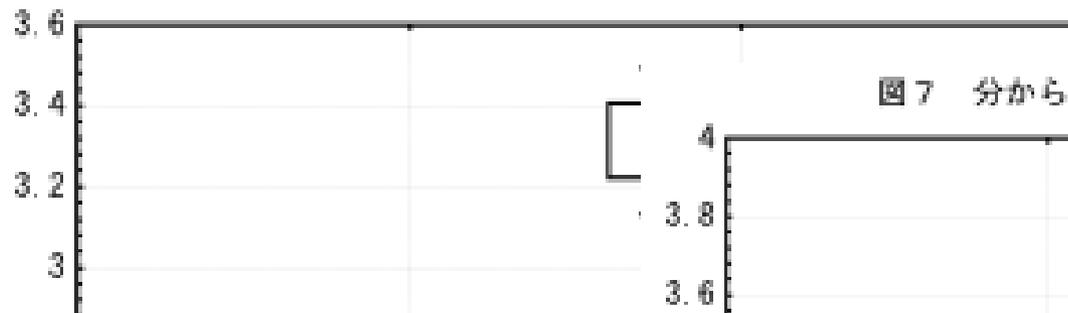


図7 分からないことを自分から調べる？

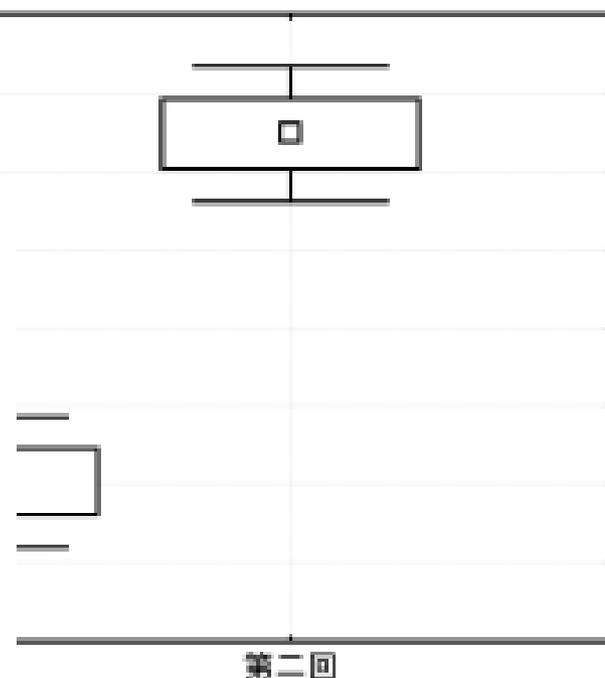
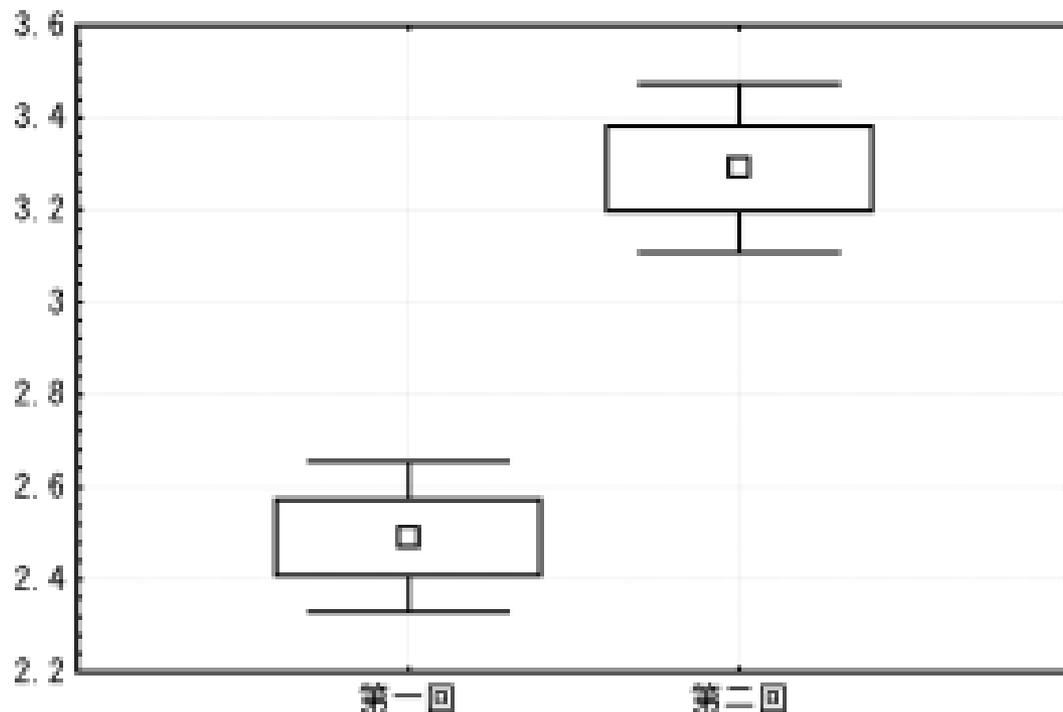


図9 自分で学習するのは好き？



●実学塾

教える

・目的

学級経営や学校運営、教師としての心構え等、
教師としての基礎・基本を身に付ける。

・対象 若手教員

・開催 月1回程度

・講師 学校運営協議会委員（元小学校長）





文書指示票

| 種別 | 区分 | | | |
|----------|---|---|---|---|
| | 甲 | 乙 | 丙 | 丁 |
| 起寄 | 統括校長 統括副校長 副校長 副校長 | | | |
| 鑑覽 供覧 |  |  |  |  |
| 回答の要否 | 要 | 要 | 要 | 要 |
| 必要 不要 |  |  |  |  |
| 合議・供覧 | 合議・供覧先 | | | |
| 完了月日 | 月 日 まで | | | |
| 指示事項 | <p>別紙のとおり 実況 してよろしいかと伺います。</p> <p>平成 27 年 6 月 1 日</p> <p>※該当箇所を以て囲んで処理すること。</p> | | | |

提出日 月 日

平成27年6月10日
武蔵村山市立小中一貫校村山学園
特別活動

電大会について

勤する態度を養う。
う。

態度を育てる。

りする態度を育てる。

(全て人間関係形成・社会形成能力)

(行事カウント 0.5) ※雨天の場合は中止

+83501 2 / 0160773

【開会式】

・体育着に着替え、校庭へ出る。

5月31日

● 毎年の研究発表

やりながら教える

目的

- ① 村山学園の研究の成果を発信する。
- ② 経験を通して、教員の育成を図る。

対象 全教員







小中一貫教育への準備



小中一貫教育全国サミット公開授業 5年生・7年生の協力授業(箏学習)

●スキルアップ研修 *やらせてみる*

・目的

校種等に関わらず、若手教員相互の意見交換や検討を通して、教員としての視野を広げる。

・対象 若手教員

・開催 月2回程度





この夏は

「村山学園の〇〇」

全65タイトルの作成を通して

◆ 生徒教育推進教師の活動

学習指導要領解説「特別の教科 道徳」編では道徳教育推進教師の役割として、「道徳科で用いる教材や図書の種類、指示書の充実、教材コーナーなどの整備」「授業を実施するよでの喜びを抱えた教師の相成りになったり、情報提供をしたりして援助することや、道徳科に関する授業研究の実施、道徳科の授業公開や情報発信」などが挙げられている。

これまで、小・中・高それぞれの道徳教育推進教師が「東京都道徳教育推進教師研修会」での研修を受講し、道徳教育のさらなる推進に取り組んできた。研修で学んだことを学校現場に還元するため、「考え、進捗する」指導法を取り入れて研究授業を行うとともに、「村山塾」において「特別の教科 道徳」の奥書や「村山スタイル道徳編」についての伝達講習を行った。さらに、校内の環境整備として教材室に「道徳コーナー」を設置し、各出版社の網読本や指導書、関連書籍などを整理して、授業準備で活用しやすいように改題した。

今年度と来年度は、群馬村山市の「道徳資料作成委員会」の一員として、仮設を基にした教材開発に取り組む。資料に取り上げられる偉人の大半が、児童・生徒が「教育のつどい」の歌集掲載で取り上げた興味・関心の高い人物である。市内の先生方に作成した資料を活用していただけるように、また、歴史上の人物の生き方を学んで、児童・生徒が自身のキャリア形成に役立てられるように、内容の充実に向けていく。

「特別の教科 道徳」の観点や「村山スタイル道徳編」の編成について、校内で公開



道徳関連の書籍を1室前にまとめ、共通空間にのびた空間的な教材研究を促している。



◆ これまでの成果・課題と今後の展望

【成果】

- ◆ 道徳の教科化に向けて、研修方法などを教職員に周知することができた。
- ◆ 筑波大学などの教材を工夫して、児童・生徒の興味・関心を引き付ける授業を実施することができた。
- ◆ 児童・生徒が話し合いでの意見を聞き、考えを再構築する場を設けることができた。

【課題】

- ◆ 道徳の教科化に向けて、「特別の教科 道徳」の題目を踏まえた指導や、校内全体の指導方針について、さらに深めていく必要がある。
- ◆ 道徳教育について校内全体で話し合う場がまだ少なく、共通理解を図る必要がある。

平成28年度版

村山学園の道徳教育

◆ 生徒で心を耕し、特別活動(行事・ボランティア活動)で実践

本校では道徳教育2年間の取組をもった道徳教育を行っている。毎年の「道徳授業地区公開講座」は共通の主題や内容項目を設定し、小・中・高の教員が一体となって開催してきた。平成26年度から実施している「村山スタイル」の授業モデルに基づき、道徳の授業公開を盛り込んだ「村山スタイル道徳編」(中巻第四)を作成し、授業改善に活かした。本校の道徳教育を一般と充実させるために、日々の実践に全校を挙げて取り組んでいく。

「道徳授業地区公開講座」の開催を通して、道徳と特別活動の関連について学んだ。



地域や保護者の方と交流し、児童・生徒が安全に過ごすための工夫について交流した。



学習指導要領「特別の教科 道徳」の目標には、「自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践態度と態度を育てる。」との文言がある。道徳の授業で学んだことを一貫性のあるものとせず、特別活動(行事やボランティア活動)で実践することで、児童・生徒の心豊かさを育んでいる。今後、道徳の授業と特別活動を車の両輪として、道徳的実践力を高める取組をさらに充実させていく。



「読書、公共の清掃」の取り組みで学んだこととを生かして、季節ごとの清掃活動を実施



道徳で学んだ「助け、思いやり」の心豊かで、上級生が下級生のお手本になる文化を醸成

D教科教育

- 10村山学園の国語科教育
- 20村山学園の社会科教育
- 30村山学園の算数・数学科教育
- 40村山学園の理科教育
- 50村山学園の生活科
- 60村山学園の音楽科教育
- 70村山学園の図工・美術・技術教育
- 90村山学園の体育・保健体育科指導
- 100村山学園の英語活動・英語科教育

E道徳教育

- 10村山学園の道徳教育

F総合的な学習の時間

- 10村山学園の総合的な学習の時間

G特別活動

- 10④村学の特別活動
- 20村山学園の学級会・学級活動
- 30村山学園の委員会・生徒会活動
- 40村山学園の儀式的行事
- 50村山学園の体育的行事
- 60村山学園の運動会
- 70村山学園の学芸的行事
- 80村山学園の宿泊学習
- 90村山学園の校外学習
- 100村山学園の異学年交流
- 110村山学園のクラブ・部活動

H特別支援教育・日本語教育5

- 10村山学園の特別支援教育
- 20村山学園の合理的配慮

- 山下教諭 高橋翔太教諭、菅原教諭
- 伊東主幹教諭、小林弘幸主任教諭
- 吉原教諭、濱中教諭
- 吉田教諭 尾崎教諭
- 西村主幹教諭、中村教諭、山田京子主幹教諭
- 小林千尋教諭、佐々木若葉教諭
- 内海教諭 上海教諭 嶋田主幹教諭
- 重岩主任教諭・佐藤教諭
- 西山教諭、正木教諭

小山翔教諭

統括校長

- 伊東主幹教諭
- 伊東主幹教諭、鈴木教諭、尾崎教諭
- 鈴木教諭、尾崎教諭
- 嶋田主幹教諭
- 高橋翔太教諭
- 重岩主任教諭 佐藤教諭
- 内海教諭、打野教諭
- 吉田教諭 内海教諭、濱中教諭
- 鈴木教諭
- 大坪教諭
- 濱中教諭

- 宮野主任教諭 小山直美教諭
- 高野教諭

期限付き

2年次

1年次

3年次

◆ 成果

- ◇3年目頃から、分掌上の重要な役割を担ったり、新たな企画を考えて校長に具申したりする教員が増えてきた。
- ◇ベテラン教員が活躍する場面が増えた。
- ◇教員のライフプランとして、管理職を目指す若手教員が増加した。
- ◇若手教員が、後輩の育成を自らの職務として捉え、主体的に研鑽に励む場面が多くなった。



御清聴、ありがとうございました。

28.10.27 合唱コンクール(5~9年生)